学芸員おすすめの本

MEMO

「みる・よむ・体験する」ねりまフォーラム実行委員会は、あらゆる世代に、芸術・文化を気軽に、いつでも楽しく「みる・よむ・体験する」地域に開かれた広場を創出することを目的に活動しています。

「みる・よむ・体験する」ねりまフォーラム実行委員会
文化庁　令和3年度　地域と共働した博物館創造活動支援事業
デザイン　櫻井恵美子　2021年11月発行

ちひろ美術館・東京

〒177-0042　東京都練馬区下石神井4-7-2　Tel. 03-3995-0612

開館時間　午前10時～午後4時（入館は午後3時30分まで）
休館日　月曜日（祝休日は開館、翌平日休館）　年末年始（1月2日から開館）
展示替のための臨時休館、冬期休館あり
入館料　大人1000円／高校生以下無料　団体（有料入館者10名以上）、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は800円／障がい者手帳ご提示の方・介添の方1名までは無料／年間パスポート3000円
交通　〇鉄道：西武新宿線上井草駅下車徒歩7分〇バス：西武バス上井草駅入口停留所より徒歩5分　荻窪駅～石神井公園駅【荻14】系統上井草駅入口下車
阿佐ヶ谷駅～長久保【荻15】系統上井草駅入口下車
〇駐車場あり（乗用車3台・身障者用1台）

練馬区立美術館

〒176-0021　東京都練馬区貫井1-36-16　Tel. 03-3577-1821

開館時間　午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
休館日　月曜日（祝休日は開館、翌平日休館）
年末年始（12月29日～1月3日）　展示替のための臨時休館あり
入館料　展覧会により異なります　中学生以下および75歳以上は無料
団体、障がい者の方の割引あり　※要年齢等確認証　詳しくはお問い合わせください
交通　〇鉄道：西武池袋線（東京メトロ有楽町線・副都心線直通）中村橋駅下車徒歩3分
〇バス：関東バス中村橋駅停留所より徒歩5分　阿佐ヶ谷駅北口～中村橋駅【阿01】系統終点　荻窪駅北口～中村橋駅【荻06】系統終点　荻窪駅北口～練馬駅【荻07】系統中村橋駅下車
〇駐車場はございません（美術館周辺にコインパーキングがあります）

ちひろ美術館・東京公式サイト　chihiro.jp
練馬区立美術館公式サイト　https://www.neribun.or.jp/museum/

石神井図書館

練馬区石神井台1-16-31　Tel. 03-3995-2230

開館時間　平日：午前9時～午後8時／土日祝：午前9時～午後7時
休館日　第2月曜を除く月曜日
交通　西武池袋線石神井公園駅南口下車徒歩20分

貫井図書館

練馬区貫井1-36-16　Tel. 03-3577-1831

開館時間　全日：午前9時～午後9時
休館日　第3月曜を除く月曜日
交通　西武池袋線中村橋駅下車徒歩3分

南田中図書館

練馬区南田中5-15-22　Tel. 03-5393-2411

開館時間　平日：午前9時～午後8時／土日祝：午前9時～午後7時
休館日　第3月曜を除く月曜日
交通　西武池袋線練馬高野台駅南口下車徒歩12分

どちらの図書館も、祝休日が休館日にあたるときは開館し、直後の祝休日でない日が休館日になります。年末年始（12月29日～1月4日）は休館となります。

練馬区立図書館ホームページ
https://www.lib.nerima.tokyo.jp/index.html

みる よむ 体験する
アートを楽しむブックリスト

「本物の美術作品をみる」
「美術について読む」
どちらを入口にしても楽しめる
ブックリストです。

いわさきちひろ　屋根裏のアトリエで本を読む自画像　1947年頃

＊請求記号は練馬区立図書館の本の背に書いてある記号です。
＊掲載している本の情報はTRC MARCを参照しています。

美術館を楽しむ

			請求記号	
●博物館の世界　教養として知っておきたい	栗原祐司／著	誠文堂新光社	069	国内6300館を訪ねる博物館マニアの著者が、全国の特徴的な博物館紹介だけでなく、ミュージアムの在り方や運営についてわかりやすく解説。
●ミュージアムグッズのチカラ	大澤夏美／著	図書刊行会	069 他	ミュージアムグッズ、それは私たちを博物館へと誘う「チカラ」に溢れています。読み進めるごとに博物館の魅力に夢中になります！
●建築がすごい世界の美術館		パイインターナショナル	526	地中海の光が差し込む巨大な葉脈のような博物館、イスラム美術を建築に引用した白く輝く海辺のミュージアム…。建築だけでも見に行きたい世界の美術館・博物館を紹介。
●建築でめぐる日本の美術館	土肥裕司／著	G.B.	526	国立美術館から個人美術館まで、建物もアートとして鑑賞できる名建築ミュージアムを90館紹介。
●芸術がわからなくても美術館がすごく楽しくなる本	藤田令伊／著	秀和システム	706	「美術館という箱を存分に楽しむ」「アート作品の見方を劇的に変える」「深く鑑賞する力を手に入れる」。
●企画展だけじゃもったいない日本の美術館めぐり	浦島茂世／著	G.B.	706	「常設・コレクション展こそアート鑑賞の枠」。102の全国の美術館を紹介。
●カフェのある美術館　感動の余韻を味わう	青い日記帳／監修	世界文化社	706	とっておきの美術館カフェ・レストラン全32店を紹介。
●ミイラにダンスを踊らせて　メトロポリタン美術館の内幕	トマス・ホーヴィング／著　東野雅子／訳	白水社	706	★メトロポリタン美術館元館長による美術館運営狂想曲！作品の寄贈・購入や資金集め、贋作をつかまされた話から辛口人物評まで楽しめる回想録。
●美術館の誕生　美は誰のものか　〈中公新書〉	岩淵潤子／著	中央公論社	706	★欧米のミュージアムの歴史をコンパクトに学べる良書。
●美術館の舞台裏　魅せる展覧会を作るには　〈ちくま新書〉	高橋明也／著	筑摩書房	706	30年以上にわたって学芸員の世界を見てきた著者が、美術館運営の裏側を平易な文章で語る一冊。
●美術展の不都合な真実　〈新潮新書〉	古賀太／著	新潮社	706	朝日新聞の文化事業に携わってきた著者による、新聞社やテレビ局などマスコミ主催の大型展のカラクリ。
●東京のミュージアム100	芸術新潮編集部／編	新潮社	706 他	知られざる個人美術館から巨大総合博物館までを、10のテーマで紹介する。
●まるごとちひろ美術館　世界で最初の絵本美術館	高橋明也／監修　ちひろ美術館／編集	東京美術	726 他	世界最大規模を誇るちひろ美術館の絵本原画コレクションのほか、東京と安曇野にあるちひろ美術館の魅力をつたえる。館長・黒柳徹子の対談も収載。
●安曇野ちひろ美術館をつくったわけ	松本猛／著	新日本出版社	726 他	北アルプスの山々と水田が周囲に広がる自然豊かな環境で美術への感動を誘う「絵は見なくてもいい美術館」のコンセプトと設立の経緯を詳述。

読んで楽しむアート

●楽園のカンヴァス	原田マハ／著	新潮社	ハラ	フランスの素朴派の画家・アンリ・ルソーの晩年の代表作「夢」に酷似した絵の真贋判定をめぐって、ニューヨーク近代美術館のキュレーターと日本人研究者が謎の古書を手がかりに真実の究明に挑むアート・ミステリー。
●ちひろダイアリー	竹迫祐子／編著　ちひろ美術館／編著	河出書房新社	726	絵本画家いわさきちひろの生涯を絵とことばと写真でたどる1冊。激動する時代のなか、絵を描き、懸命に生きたひとりの女性の姿が浮かび上がる。
●ダ・ヴィンチ・コード　上中下巻	ダン・ブラウン／著　越前敏弥／訳	角川書店	Fブラ	閉館後のルーヴル美術館で起きた殺人事件をきっかけに展開するミステリー。名画に込められた秘密と秘密結社や西洋史の独自の解釈が話題に。
●月と六ペンス	サマセット・モーム／著　金原瑞人／訳	新潮社	B Fモム	画家のポール・ゴーギャンをモデルに、安定した生活を捨て画家となった男の人生を、友人の視点から描いた小説。
●ごんたくれ	西條奈加／著	光文社	サイ	実在した奇想の絵師・長沢芦雪と曾我蕭白をモデルに、江戸時代の京画壇で当代一の絵師を目指す2人の絵師の矜持と苦悩、芸術を探求する数奇な運命を描き出した長編時代小説。
●若冲	澤田瞳子／著	文藝春秋	サワ	独自の境地を極めた江戸の絵師・伊藤若冲。贋作を描き続ける義弟との確執や京画壇の絵師たちとの交流、また当時の政治的背景を織り込みつつ若冲の画業の秘密に迫る時代長編小説。
●百日紅　上下巻	杉浦日向子／著	筑摩書房	M	葛飾北斎とその娘・応為（お栄）を中心に江戸の風俗を描いた漫画。杉浦作品の独特の間や静かなユーモア、闇の描写も魅力的。

★学芸員のおすすめ

＊請求記号は練馬区立図書館の本の背に書いてある記号です。
＊掲載している本の情報はTRC MARCを参照しています。

アートを楽しむ

			請求記号	
●芸術の意味	ハーバード・リード／著　滝口修造／訳	みすず書房	701	美術の歴史や造形的な側面を広い視点から論じた本書は、世界中で読み継がれているロングセラー。芸術について考える際の指針を与えてくれる。
●現代アートの本当の楽しみ方	フィルムアート社／編	フィルムアート社	702	感受性ってなに？アートを楽しむために知識は必要？現代アートの楽しみ方を、さらに一歩先に進めるための提案。
●日本美術の歴史	辻惟雄／著	東京大学出版会	702	絵画、彫刻、工芸、考古、建築、庭園、書、写真、デザインなどの多分野にまたがる日本美術の流れを、縄文から現代までたどる。
●5歳の子どもにできそうでできないアート	スージー・ホッジ／著　田中正之／日本語版監修	東京美術	702	なぜこれがアートなのか？アートとは何か？楽しく読めて好奇心を刺激する入門書。
●現代アートがわかる本		洋泉社	702	現代アートの歴史を紐解きながら、アートの楽しみ方を徹底解説。
●日本美術史　カラー版	辻惟雄／監修	美術出版社	702	美術史の大枠をビジュアル的につかみたい方のための定番シリーズ。手に取りやすいサイズも魅力。
●西洋美術史　カラー版	高階秀爾／監修	美術出版社	702	
●東洋美術史　カラー版	前田耕作／監修	美術出版社	702	
●美術の物語	エルンスト・H・ゴンブリッチ／著　天野衛ほか／訳	河出書房新社	702	★全世界で最も広く読まれている美術書のひとつ。先史時代から現代までの美術の流れを図版とともにわかりやすく解説。
●ひらがな日本美術史１～７	橋本治／著	新潮社	702	古代から現代にいたるまでの日本の美術を著者独自の大胆な視点から編み直した他に類を見ない画期的な通史。
●美の歴史	ウンベルト・エーコ／編　植松靖夫／監修	東洋書林	702	「本書が扱うのは、美の歴史であって、美術史ではない」とあるように、古代から現代にいたるまでの西洋の「美」について豊富な図版とともに考察。
●教養の日本美術史	古田亮／編著	ミネルヴァ書房	702	各研究者による縄文から現代までの論考に、建築や書などジャンルごとの歴史も交え、より多角的に日本美術を考えられる入門書。
●目の見えない白鳥さんとアートを見にいく	川内有緒／著	集英社インターナショナル	702	★現代アートから仏像まで、全盲の美術鑑賞者・白鳥さんや友人たちとの作品鑑賞は、それぞれの視点や記憶、人生を巡るささやかで壮大な旅だった！
●みる・かんがえる・はなす	アメリア・アレナス／著　木下哲夫／訳	淡交社	707	美術鑑賞教育の第一人者である著者が、作品を見るという行為について解き明かす。知識や先入観にとらわれずに自由に作品と向き合う体験へと誘う。
●女性画家列伝　〈岩波新書〉	若桑みどり／著	岩波書店	720	★様々な時代・地域の女性作家について、その業績の紹介にとどまらず、社会的、文化的な背景を踏まえて分析した意欲的な一冊。
●一枚の絵から　日本編／海外編	高畑勲／著	岩波書店	720	★古今東西の絵画に精通したアニメーション映画監督の高畑勲による作品の記述（ディスクリプション）が冴えている。絵を見る楽しさを再発見。
●画題で読み解く日本の絵画	佐藤見子／文　須山奈津希／イラスト	山川出版社	721	「敷居が高い」と思われがちな日本の美術。ちょっとした約束事がわかればぐっと理解が深まります。
●暗号（アトリビュート）で読み解く名画	岡部昌幸／監修	世界文化社	723	西洋美術の重要な決まり事である暗号（アトリビュート）の来歴や寓意的な意味を解説。
●国立西洋美術館名画の見かた	渡辺晋輔／著　陳岡めぐみ／著	集英社	723	西洋美術の鑑賞の手引き。国立西洋美術館の現役学芸員が、所蔵品を使って美術史を説明し、学芸員ならではの視点で解説する。
●画家の食卓	林綾野／著	講談社	723	ゴッホのジャガイモスープ、広重の鰺の焼き浸し、セザンヌの焼きリンゴなど、画家たちが楽しんだ食事のレシピを再現。
●怖い絵	中野京子／著	朝日出版社	723	心の底からゾッとする名画の見方、教えます。恐怖と全く無縁と思われていた作品が思いもよらない恐さを忍ばせているという驚きと知的興奮。シリーズ多数あり。
●366日物語のある絵画	海野弘／解説・監修	パイインターナショナル	723	1日1話、物語で楽しむ、ロマンティック美術史の世界。ギリシア神話、聖書、中世伝説物語等を源泉とする物語絵をカラーで掲載。
●名画を見る眼　正・続　〈岩波新書〉	高階秀爾／著	岩波書店	723	★美術史的な視点から、絵画鑑賞を楽しむことのできる基本の書。専門的かつ分かりやすい内容で、すっきりとした文章も魅力。
●絵画の見かた　〈白水Ｕブックス〉	ケネス・クラーク／著　高階秀爾／訳	白水社	723	レオナルド・ダ・ヴィンチやヴェラスケスなど西洋の名画 16 点を作品がうまれた時代的な背景とともに解説。西洋絵画鑑賞手引きの決定版。
●絵本の世界110人のイラストレーター1・2	堀内誠一／編	福音館書店	726	★絵本の歴史に楔を打った世界の画家52人をビジュアルとともに紹介。絵本画家やエディトリアルデザイナーとして活躍した著者の審美眼が光る。

★学芸員のおすすめ